



シーズ名

ドイツ教育経営学

氏名・所属・役職

辻野けんま・文学研究院・准教授

<概要>

学校経営と教育行政に関心をもちながら、主にドイツを対象に研究しています。今日のドイツの学校教育はたとえば、授業は午前中まで、宿題を出すことは禁止(制限)、放課後の部活動はなし、長期休暇中の出勤もなし、・・・と日本のそれとはかなり異なっています。学校を「授業」の専門機関と定義して、<学校の限界>を明示しその専門化が図られてきました。結果、学校「以外」の社会教育や家庭教育といった機会も繁栄してきました。

今日、日本でも膨張した学校の役割の適性が焦眉の課題となっています。しかし、長らく学校教育が社会教育や家庭教育に比して重視されてきた背景から、それを適正化することの難しさに直面しています。人間と教育の関係を、生涯学び生きる生涯学習の観点からとらえ直すことで、学校などを通じた<制度的な学び>と人が自らふれる<非制度的な学び>のバランスを大切にすることを探究したいと考えています。



趣味、遊び、交友、恋愛、読書、メディア、インターネット、偶然の学び etc.

<アピールポイント>

- ・ 外国との共同研究や比較研究 → 看過されがちな自文化の特質を明らかにできる。

<利用・用途・応用分野>

- ・ 学校改善、教育行政への政策提言、地域社会と学校の連携、など。

<関連するURL>

<https://researchmap.jp/read0108193/>

<他分野に求めるニーズ>

教育というテーマは、様々なアクターの固有利害が解消され協力がしやすい領域だと考えます。大人が頑張り過ぎて子どもが委縮する<教育の権力性>も配慮しつつ協力を進めたいと思います。

キーワード

教育経営学、ドイツの学校経営、教育行政の専門的責任